

坂の上通信

令和三年六月十八日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

文化祭 7月に延期

緊急事態宣言延長を受け

例年6月中旬に行われる文化祭が、緊急事態宣言の延長を受けて、延期が決定した。開催日は7月16日(金)。一日のみで、土曜日の一般公開は行われない見込みだ。

昨年度は「ミニ文化祭」として文化系の発表にとどまったが、今年度はクラス発表も



本番に向け、講堂で稽古に励む演劇部

合わせて実施する方向で動いている。今回の文化祭延期について、柳教頭先生にお話を伺った。

学校の「顔」にインタビュー



今回は、数学科で1年4組担任の三浦先生にお話をうかがった。

「数学教師を志した理由は?」

「私に女子が数学を聞いてきて『ありがとう』と言われたんです。数学を教える力があれば女子と話せるという勘違いから始めました。好きなだけ行事は?」

「体育祭。体育の先生に『プログラム12・5番体操部演技』を作ってもらい、バク転を披露するとすごく盛り上がりました。美高生に一言お願いします。コロナで暗いニュースが多いですが、明るく行こうぜ美高生!笑おうぜ美高生!」

準備期間 例年より短く

例年、文化祭直前は「文化祭週間」が設けられ、45分授業を実施。放課後は30分程度の準備時間が設定されている。ただ今年(7月12日(月)から文化祭週間となり、火・木曜のみ45分授業。

水曜日はもとも入っていた他の行事の関係で、50分授業のままとなる(いずれも変更の可能性あり)。木曜日の4時間目以降は準備時間だが、準備時間は例年よりも短くなる見通しだ。

もしかか考えてほしい。また文化系の皆さんは厳しい状況にあるが、今できることを精一杯がんばってほしいと力を込めた。

制約の中で

文化系部コメント

現在部活動は、試合や発表がある場合のみ、また時間も1時間程度に制限されている。制約の中で準備を進めている文化系の部長に話を聞いた。

「6月11日(金)に開催する予定だったが、いまだ緊急事態宣言下であること、また広島市教育委員会が示したガイドラインに照らして延期が望ましいと判断した」と話した。また「生徒のためにできるだけ例年通りの形を保ちたいが、生徒だけでも密の回避が難しいため、一般公開は断念した。また食品パザーにも一定の制約がかかること、黙食の徹底についても課題がある」と感染防止にも言及。

「どうすれば対策しながら楽しむことが達成できるか、自分たちで」

「1時間の間に楽器を運び基礎練習。その上で文化祭とコンクールの練習をしなければならぬので、なかなか大変です。当日は、みんなに楽しんでもらえるよう頑張ります」(吹奏楽部部長・新井さん)

歌は世につれ

歌は世につれ世は歌につれ。歌は、時代のアルバムです。

このコーナーでは、先生方の青春時代の思い出の一曲を、当時のエピソードとともに紹介していただきます。今回は、生物の村井

アーティスト	はつぴいえんど
曲名	風をあつめて

しぐれ、そして机の上の問題集。当時ビートルズを中心に、外国のロックばかりを聞いていた。日本の曲は、リズムがつまらないと思っていた。しかし、この曲は文学的な歌詞と裏のリズムが心地よく、カセットテープに録音して何度も聴いた。エネルギーの発散の場だった音楽が、安らぎの場に変わっていったのだと思う。

時差登校と黙食、1時間部活動

宣言の延長、影響をまざま

5月28日に、緊急事態宣言の延長が決定した。予定は6月20日まで。これにより美高でも、5月末から行っていた時差登校措置が延長された。時差登校とは、出席番号の偶数と奇数で登校する時間を分けることだ。片方は8時30分までに登校、もう片方は8時50分ま

でに登校し、登校時の密を避けるための対策である。

また、マスクを外し感染リスクが高まる昼食時には、自分の席で前を向いて無言で食べ「黙食」の取組も続いている。

当面試合等がない部活動は、休止しているところも多い。活動し

ても1時間程度という制限がかけられているため、生徒からは「やむを得ないが早く日常にもどりたい」という声がかかった。

「試合やこれからの部活については不安な気持ちもありますが、今は我慢して部活に取り組んでいきます」(男子バスケット部2年・岸良くん)



黙って弁当を食べる「黙食」(写真上)と、部活動の様子(写真下)

美・鈴・鈴・鈴

新型コロナウイルスの拡がり、私たちの生活は制限されることも増えた。広島県では5月16日から6月20日まで緊急事態宣言が発令された。今回の宣言は20年3月13日に発令して以来3度目となる。▼新学期が始まり新しい生活にも慣れてきたころ、美高ではオンライン授業の取組も行われた。また密にならないように登校時間をずらす「時差登校」も実施されている。慣れない生活に戸惑っている生徒も多いのではないかと。▼緊急事態宣言は、私たちに今が有事であることを知らせると同時に、その有事を自分たちの力で乗り越えようというメッセージでもある。自分の命を守ることは周りの大切な人も守ることにつながるだろう。▼いつまでこの生活が続くのかという不安やいらだちは確かにある。しかし今は、正しい知識を持つことや相手や周囲の人を大切にすることを忘れないことが大切なのではないだろうか。(細木桃香)

編集後記

試験や休校、分散登校もあって久しぶりの発行です。文化祭特集号には気合いが入っています。乞うご期待。